



岡崎市議会議員

鈴木 ひでき

「いつまでも 安全安心 いきいきと」した 岡崎のまちづくり

発行 鈴木ひでき

連絡先 〒445-8502 西尾市下羽角町住崎1 TEL 0563-55-1167 FAX 0563-55-1909

ご支援頂いている皆様へ

この度、**4期目**も皆様の声を、直接市政にお届けできることとなりました。健全で持続的なまちづくりが進むように、誠実に全力で取り組んでまいりますので、引き続きのご指導とご支援を宜しくお願い致します。

まちづくり
3政策

すこやかな
発展を続ける

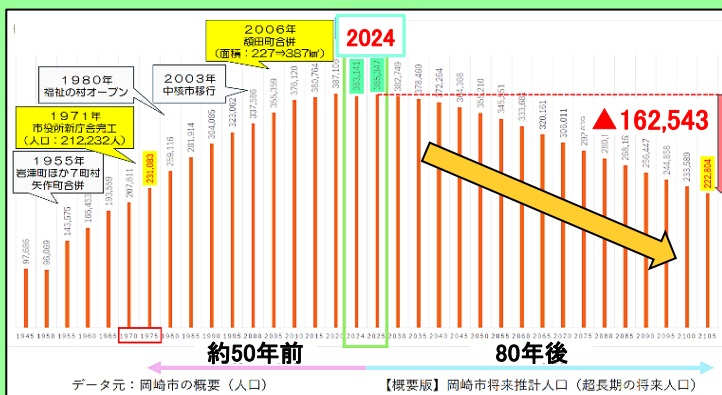
おだやかな
暮らしを守る

のびやかな
人生を歩める

一般質問に登壇し市政に提言

<質問した経緯>

■本市の人口動向（HPにデータ掲載）



「岡崎市将来推計人口」（2024年3月）の報告によると2025年をピークに、本市も人口減少に入る。超長期（80年後）の**2105年には、222,804人（減少率42.1%）**の規模と推測される。その人口規模は、1970年代（50年前）と同等だが、額田町と合併し市政運営する面積は1.7倍（227㎡⇒387㎡）となり、多くの公共施設・インフラを有する状況。財政面（一般会計）で見ると、予算規模は、1971年は74億円、2024年は1,404億円と約30倍の規模。また、社会保障費などの民政費（扶助費：人件費が入らない）の割合が増加する傾向である。これらの事から、**施設費・施設維持費などの、固定費を早期に可視化した公共施設運営が必要。**

公共施設等総合管理計画

■次期改定に向けた新たな取組みについて伺う。

人口の減少見込みを反映し、施設の配置や規模の適正化など、**投資対象の選択と集中を進める**。保全については、経過年数や稼働時間など、**時間を基準**として行う「**時間計画保全**」と、**時間と劣化状況の両面を基準**として行う「**状態監視保全**」のいずれかを設定し管理する。また、**施設総量縮減の対象を明確化**し、課題整理や対応方法の検討及び協議を進める。

コミュニティ施設の在り方

■施設機能の統合に向けた取組みについて伺う。

小学校を所管する教育委員会、学区こどもの家を所管することも育成課、学区のスポーツ事業を所管するスポーツ振興課等で協議を行う。その際、**シミュレーションにより課題を明確にし、ルールづくりに取り組み、新たな公共施設サービスのあり方も踏まえ、前向きに検討**を行っていく。

公共施設など固定費の硬直化の影響で、将来の方々に負担とならないように早期に取り組むべきと提言する

引き続き「岡崎に住んで 本当に良かった」と思って頂けるように取り組みます！！

令和5年度決算審査について

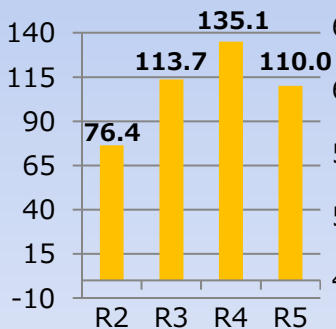
■決算審査概要

項目	歳入	歳出	純剰余金及び利益
一般会計	1,520億1,000万円	1,436億 243万円	54億8,030万円
特別(12)会計	688億 250万円	676億6,980万円	10億3,424万円
病院事業会計	268億5,141万円	258億5,199万円	9億8,257万円
水道事業会計	80億6,602万円	69億9,855万円	7億5,834万円
下水道事業会計	98億4,772万円	94億4,849万円	1億6,153万円

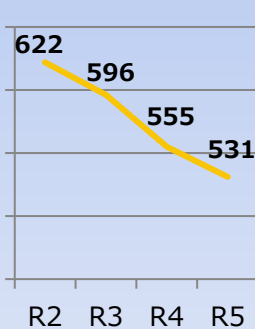
<財政状況の評価>

財政指標：プライマリーバランス（基礎的財政収支）とは、市債の発行に頼らず、その年の歳入で市民生活に必要な支出がまかなえているのか確認する指標で、財政健全化の目安の一つ。

■プライマリーバランス（億円）



■市債残高（億円）



■一般会計

- ・経常収支比率は、91.9%(望ましい範囲70~80%)と**要注意**
- ・財政力指数は1.00（引き続き、**不交付団体**となる）
- ・市債残額は、24億円減額
- ・財政調整基金は、年度末残高48億円（前年比22億円減少）となり。目標残高100億円を下回るため**要注意**

■企業会計

- ・病院は、助産に係る消費税不備に対し再発防止の徹底を要す
- ・水道は、人口減少に向けた水道施設の在り方に**要注意**
- ・下水道は、農業集落排水事業の統合による財政負担に**要注意**

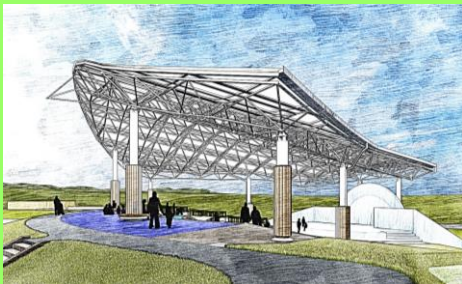
全会計(一般・企業)黒字決算。しかし、厳しい財務状況と認識、将来負担を見据えしっかり確認します。

トピックス

全天候型の子ども遊び場の整備について

【概要】 契約金額：3億3,220万円
天候に左右されずに子どもが屋外で遊べるように、ふれあい広場（おかさき世界子ども美術博物館隣接）に大屋根を設置する工事契約。

■イメージ図



【設置工事】R6・7年度（契約完成期限：R7.10/31）
【施工業者】小原建設株式会社

自然環境に左右されない、子どもの居場所づくりの確保として期待。工事中の安全確保に留意する様に意見する。

屋内運動場(体育館)への空調整備に向けて

【概要】 補正予算：1,198万円
設計施工一括発注方式を採用するため、DB方式に関する幅広い知識と、高度な専門能力を有した事業者から、各課題分析から解決までの技術的支援、及び事業者公募・選定支援等の業務実施上必要な法務及び技術面における実務的支援を的確に受け、質の高い事業実施を実現する目的で実施する。

【補正予算内訳】

契約等支援委託料	1,177万円	「DB方式（デザインビルド方式）」とは、設計及び施工の両方を単一業者に一括して発注する方式。
委員報酬	192万円	
その他	21万円	

【中学校施設から整備が開始される理由】

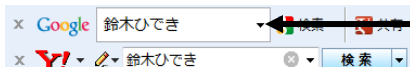
学年集会や部活動などの使用頻度が高いこと、熱中症の危険性が高い場合の他授業への切り替えが難しいこと、一部の中学校が医療救護所として指定されていることなどによる。

小中学校屋内運動場(体育館)への空調整備が進み期待。
コミュニティー施設でもある環境が整備促進されると認識。

編集後記

過去の市政レポートについては、下記ドメインまたはQRコードを読みこんでいただき内容のご確認をお願い致します。

<ホームページのドメイン>
http://www.giin-dnwu.com/suzuki_hideki/



「鈴木 ひでき」検索でも見れます!!

<QRコード>



<臨時報告事項>

- ・子ども医療助成拡充(通院18歳年度末まで)の審議経緯を報告。

市政の
話題満載!

